

うさぎだよりは「コーン」ともびボランティア振興財団の助成を受けて印刷しています。

# うさぎだより

2021年 新春号  
うさぎぶんこ

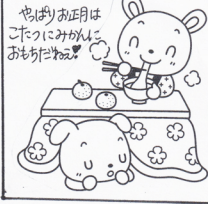
## 1月



1月の文庫では  
「くりとくりのがたてのしよーす」♪

お正月はいいお過ごしでした。年末からの寒波で気温が急に下がり、暴風が吹きおどる台風がやってきました。プーと花壇もその風でゴンドラをたたくように倒れて2つも割れてしまいました。風に割れてしまったのは初めて。びっくりです。皆さんのお宅の状況は大丈夫でした。新年明け方も強い寒波がやってくる予定です。暖かくなると風邪をひかないようにしましょう。菊川宅では年末から2週間ほどお天気に感謝です。

昨年はコロナ影響で不安な毎日でした。今年にはまだ感染者が増え続けています。東京に下るの娘はお正月にも帰省予定です。(1年ぶりです)家族も淋しい思いをしました。マスクと手洗いで強靱な生活も必要です。お互い、自分の力を守るため、そして家族の力を守りながら、できることはしっかり行っています。旧年のおりに文庫をお休みのするお仕事を切り上げたいことを願っています。



今年 不安な方もいらっしゃるでしょう。もちろん菊川自身も動物メンバも不安を感じています。文庫に来ることが1年ぶりですが昨年同様本の完読も継続します。希望される方は遠慮なくお申し込み下さい。宅間の方法は以前と同じく各自でやり取りしたいと思います。初めの方よりうさぎ文庫に電話を頂くFAXを送っていただくことも可能です。自由な生活が当たり前が続くのがお互い思っている気持ちを抱き合っています。心も癒されてくれる本の出会いがあります。おぼろに喜んでお返しを探して今年も文庫まで

モー、牛さんのようにゆえり確実に歩モー！！

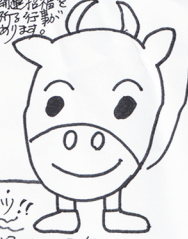
今年はずいぶん 十二支で数えらるる2巻の牛(丑)の年にしよう！！

牛は昔から食料としてだけでなく労働力として人間の生活に欠けぬ動物でした。十二支の動物の中では最も動きが緩慢で歩みが遅いといことで 十二支に選ばれたためにどの動物よりも早く出かけたのですが、到着の間隙で背中に集って来たおぼろに「おんを先を越されたといおうおぼろに知られていました。牛はよく働く姿が誠実さを象徴していると言われます。

また丑には「解ぶ」や「つらむ」などの意味も込められているようです。五年生れの人の性格は死生でマイナスと評されることが多いようですが、先を思いつく歩み着実に物事を進めやっつけて 未来をつかんでいく忍耐力があり、黙々と目の前のことをこなしていけるようです。五年生れの人のために五年の今年、忍耐が明るい未来につながるようにと牛の年にならうにしよう。日頃の努力と忍耐はきっといつの日も報われます。

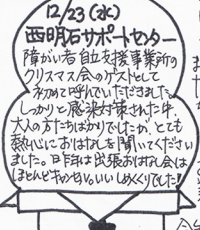
「牛は神様?!」  
南阿久良のあさひ県防府市には日本三大神の1つ防府天満宮(福岡の大宰府)に京都の北野天満宮(和歌山)に次いで入りに座す牛の像が置かれています。

天満宮という学問の神様といわれる菅原道真公をまつる神社ですが、道真公が大宰府へ流される時に牛が運んでくれたおかげで、牛は神様といわれはつはつ。物ごころ昔から天祥は牛を大切にしています。防府天満宮では毎年節分日に牛糞神楽(うしごん)という開運招福を祈る行事があります。



ホホはヒジツ!!

2020年12月のおはね会



うさぎ文庫の川尻さんは五年生れ。さて、何歳でしょう? 11歳... はあーい 生れ暮おる年ですよー♥  
うさぎ文庫のメンバーはちよと違う年が違いますが、まずは50歳にみた時に自分の食べたものをリクエストしてみたいお祝いのお食事をしています。ってことでみんな50歳は越えちゃったね♡。すでに還暦越えも数人! いよいよ今年には川尻さんの番がやってきました。おぼろは出張おはね会は「おぼろのうさぎ」が主役です。今年もひとつずつ楽しいことおぼろに元気にいきましたよ!!

2月の開室日: 5日、19日